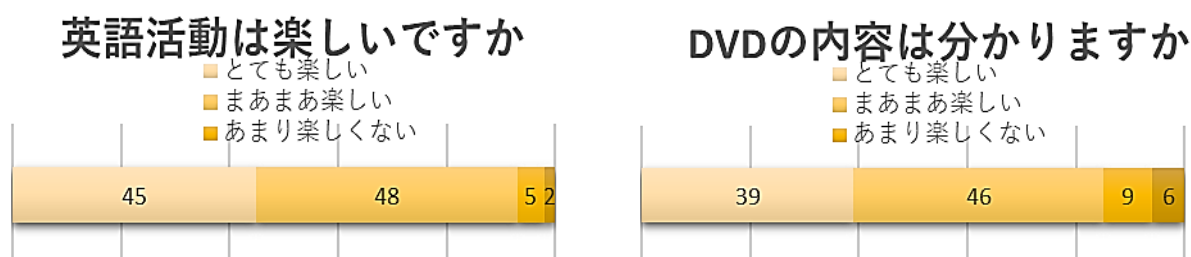


1 成果

(1) 自己評価結果と英語活動での取り組み

4年以下の児童に英語活動に関するアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という問いに対して「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した児童は全体の93%でした。また、「DVDの内容は分かりますか」の問いに対して「よく分かる」「まあまあ分かる」と回答した児童は全体の85%でした。このことから、本校の児童は楽しみながら英語活動を行っていることが分かります。

【資料1】児童に行った英語活動に関するアンケート結果



また、DVDの視聴で学習した英語表現を外国語活動の授業で生かす実践も行いました。“How many elephants are there?”を学習した2年児童は、数の英語表現に慣れ親しみました。外国語活動の時間にはそれを生かして、鳥の数を数えたり、数の分だけ手拍子したりし、数の表現を習得しました。また、日にちの表現の仕方も覚え、友達と誕生日を尋ね合う活動に発展させることもできました。



ALTによる数の英語表現の確認

(2) 学校関係者評価意見

英語活動に関する保護者の声として「DVDのフォニックスと同じように、街中の看板を見て、兄弟で競争してアルファベットを探しています。思ったよりたくさんアルファベットが使われていて、楽しそうです」「英語活動の歌を家でも歌ってくれます」など、好意的な意見をいただいています。



友達と誕生日を尋ね合う児童

2 まとめ

英語活動で、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するには、「自分の思いが英語で伝わった」「相手が話す英語が分かった」などの経験が必要であると考えます。DVDの中ではネイティブスピーカーが身近で具体的な事柄を取り上げ、視聴する児童に語りかける内容になっているので、児童と一緒に声を出したり、体を動かしたりして楽しみながら参加することができています。毎日10分の英語活動により、児童にとって英語がより身近なものになっています。